

加茂まちづくり推進委員会

委員長 小林 弘志

（問合せ先） 084-972-5541（加茂交流館）

事業内容

- (1) 第29回加茂ふれあい文化祭（11月9日）
- (2) まちづくり事業の広報活動（通年）
- (3) まちづくり推進委員会運営事業（通年）
- (4) コミュニティ育成事業（通年）
- (5) 加茂まちづくり功労者表彰（11月9日）
- (6) 第17回加茂知っとる検定（2月13日、14日）
- (7) 史跡めぐり（11月22日）
- (8) 子ども会書道大会（11月3日）
- (9) 親子で楽しめるイベント開催（11月29日 モルック&巨大オセロ）
- (10) 第17回加茂学区駅伝・マラソン大会（11月30日）
- (11) しめ縄づくり（12月20日）
- (12) 地域の人をお招きする会（1月30日）
- (13) 見守り活動
 - ・通学路点検と交通安全の旗交換
 - ・下校時の安全パトロール
- (14) 花いっぱい運動（通年、植替作業 6月7日・12月6日）
- (15) 環境保全対策
（啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布、啓発看板の設置）
- (16) グラウンドゴルフ大会（9月9日、10月16日）
- (17) ペタンクゲーム」を楽しもう（10月4日）
- (18) 「健康福祉講座」
 - 8月24日 救命救急法講習会、9月11日 健康づくり講座
 - 2月28日 認知症講座（成年後見制度の理解と推進・認知症についての講座）
- (19) 高齢者が多くの人とふれあえる場の提供（10月1日グラウンドゴルフ大会）
- (20) お出かけ支援事業
（毎月4回 高齢者の買い物支援）
- (21) つれのうていい～加茂night
 - 毎月第4火曜日 多様な世代が集まり対話できる場所づくり
- (22) 加茂みんなの運動会（9月28日）
- (23) 大規模行事の在り方検討
（1月28日 大規模行事の協議・検討研修会）



第29回加茂ふれあい文化祭



史跡めぐり



大規模行事の在り方の検討

成 果

まちづくり計画終了後の「まちづくり」の方向性に基づき、各主管団体が自主的・主体的に活動し予定していた事業に取り組めた。大規模事業である「ふれあい文化祭」については前年に続き山野町とも連携して開催し、2年目となる「お出かけ支援事業」については対象地域を拡大し実施した。また、「大規模行事のあり方検討」事業では、今後のまちづくり事業を考える研修会として労働者協同組合の研修を企画・開催しその知識を共有することができた。

課 題

- ・時代の変化に対応した組織づくりや、事業実施団体の次世代育成が必要である。
- ・ふれあい文化祭について、開催時期や敬老会など他行事との連携を検討する必要がある。
- ・お出かけ支援事業について、引き続き、事務局運営体制の整備・支援サポーターの確保・協力事業者の拡大・情報発信の充実・買い物以外の支援策の検討に取り組む必要がある。

課題解決にむけて

- ・主要な行事等が持続可能な行事となるよう、「大規模行事の在り方検討」事業において「スマイルup加茂」などの若い世代とも連携し、研修で得た「労働者協同組合設立の手法」も参考に課題解決に取り組んでいく。
- ・お出かけ支援事業について、社会福祉法人・北部地域振興課等を含め実行委員会で運用状況を検証し、課題解決に向けては「労働者協同組合設立」の手法も参考に検討していく。

加茂学区民運動会から加茂みんなの運動会へ

加茂まちづくり推進委員会では昨年度より、まちづくり事業の新たな取り組みとして「加茂みんなの運動会」を開催しています。これまで加茂体育会主催の「加茂学区民運動会」という名称で住民に親しまれてきた運動会ですが、2017年度から会場になっている小学校舎の建て替えやコロナ禍で長らく中止が続きました。

その間、競技内容や運営方法について協議を行い2024年度より加茂まちづくり推進委員会主催「加茂みんなの運動会」として新たなスタートを切っています。



今年度2回目の開催となった「加茂みんなの運動会」は9月28日、天候にも恵まれ盛会のうちに終了。競技内容も加茂小学校発祥のスーパー玉入れやフォークダンス等、こどもから高齢者まで楽しめるような競技を取り入れたことで、たくさんの参加がありました。その中で一つの競技を行う時間がかかりすぎたなどの課題も見え、来年度以降の内容を見直すなど、今後も「加茂みんなの運動会」が継続できるよう検討していきます。

